

中学校 外国語科（英語） 学習指導案

指導者 山岡 大基

日 時	令和2年12月4日（金） 第2限 9:40～10:30
場 所	第4研修室
学年・組	中学校1年A組41人（男子21人 女子20人）
単 元	英語で記録文を書く Lesson 9 Four Seasons New Crown English Course 1（三省堂）
目 標	過去の出来事について情報を整理して書く。

指導計画（全11時間）

- 第一次 教科書本文の内容・言語材料の理解 3時間
- 第二次 動詞の活用と品詞転換の理解 4時間（本時 1/4）
- 第三次 過去の出来事について情報を整理して書く 4時間

授業について

英語の授業としては週4時間を「英語1」3時間、「英語2」1時間に分けて運用している。「英語1」では、主に教科書を用いて、言語材料と言語活動の総合的な学習を展開している。本単元では、日本の中学校に通うアメリカ人生徒 Emma が、日本での学校生活を振り返るブログ記事を書いているという状況で、過去の出来事を述べる場面が設定されている。言語材料は動詞の過去形であり、付随して時や場所を表す副詞類の学習が焦点化される。言語活動の面では、過去の出来事を時系列で整理して述べる技能を育てる活動を設定することができる。

一方「英語2」では、主に文法事項の体系的な学習を行っている。本単元では、過去時制の文の作り方や不規則変化動詞の活用を学ぶ。また、直近の単元で法助動詞 can および現在進行形を学んでいることから、動詞の準動詞化（時制・人称・数を表示する機能を失う・活用語尾が付くと形容詞・副詞の機能を併せ持つようになる）という現象の理解が始まっている。このことを踏まえ、-ing 形の品詞転換機能を焦点化し、動詞を柔軟に運用することで、より幅広い事柄が表現できる力を育てたい。

学習形態については、新型コロナウイルス感染症の影響から、4・5月の休校期間における家庭学習のみならず、学校再開後の対面授業においても、個人単位での学習活動を主体とすることを余儀なくされている。しかも、中学1年生の場合、英語を体系的に学ぶのはこれが初めてであり、他者の補助なく英文を理解するのは、言語事実を統合・一般化して捉えるのが苦手な生徒や、個別学習のスタイルが適合しない生徒にとっては例年に増して困難が大きい。

そこで、記号付与による補助を行い、生徒の理解を支援することを、休校期間から継続して試みている。また、教科書では随時・散発的に扱われるが実際は関連の深い項目を整理して体系立て、英語という言語の性質に沿って学習ができる教材を開発し、特に習熟度の低い生徒の支援を目的として指導に取り入れている。

そのような背景において、本単元では、生徒個々が動詞の品詞転換と、それと関連する事象について、暗記と反復訓練だけでなく、各自が持てるツールやリソース（記号・辞書・既習事項等）を活用して学びを深めることを「探究的学習」と捉え、学習活動を仕掛けたい。

題 目 探究的なプロセスによる知識・技能の習得

本時の目標

1. 動詞の品詞転換について理解する。(知識・技能)

本時の評価規準（観点／方法）

1. 動詞の品詞転換について理解している。(知識・技能／ペーパーテスト)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
1. 帯活動	<ul style="list-style-type: none"> ・不規則変化動詞活用表を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母音の変化を正確に発音することに留意させる。
2. 復習	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形および法助動詞の文での動詞の語形と機能の変化について既習事項を確認する。 ・品詞の概念について既習事項を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品詞は他の語との関係性で決まることを意識させる。
3. 導入 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">見通す</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形以外の動詞の-ing 形を含む英文を聞いて、意味を推測する。 ・聞いた英文のスクリプトを読み、文構造がどのようになっているのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独力での解釈を支援する。
4. 説明	<ul style="list-style-type: none"> ・『構文で学ぶ英文法』を参照し、動詞の品詞転換について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習した内容と関連付けた理解を促す。
5. 練習 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">慣れる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px; margin-top: 20px;">試行錯誤する</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の-ing 形を含む英文を聞いて、意味を推測する。 ・聞いた英文のスクリプトを読み、記号を付与する。 ・記号付与した英文を日本語に訳す。 ・文構造と意味について他の生徒と意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独力での解釈を支援する。 ・次時に向けての家庭学習課題を示す。
備考		